

りんごの摘果作業にかなりの時間を要した。右手がうまく作動しないので鉄の空振りばかりしていた。草野球の頃から両打ちの練習をしておけばよかったと思っただけだ。

トルコのアマシアを春何ヶ所か接木したが、ひとつだけとても小さな実を付けた。本来ならその枝の成長のために落とすべきところなのだが、実物を早く見たいためにと残した。実は何年か前に脳梗塞を患ってしまったりんごについて博学の友人と、いつかトルコへりんごを見に行こうと約束をかわしていた。山野にある原種の群生している色模様を想像しただけでも楽しいではないですか。ところが私も同じ立場となってしまう望みが叶わなくなった。ちゃんとした通約がそばにいるから、今さらトルコ語の勉強などする必要はないと思っていたのに。

高温多湿下の条件では殺菌剤はどうしても必要であるという概念があるが、たぶん地中海沿岸地域の原産であるアマシアならカビの被害は少ないだろうという願望もある。イギリスの古い品種を私は栽培しているが、その強さを証明している。ジェームスもブレンハイムもしっかりと葉を付けている。それらと比較するとふじはこの時期になると葉が黄色くなりパラパラと落ち始める。アメリカの品種であるロールスとデリシャスの交配でできたものである。デリシャスは甘いのが落葉病に弱いとされてきたが、大きくて甘いりんごを求める人間の欲求はとどまることはない。

イギリスの古い品種は皆すっぱい。だから加工技術や料理が進んだと思うのだが、日本は個々の栽培面積も生産量も少ないからひとつひとつに手をかける習慣がある。そして栽培の歴史が浅いのである。50年前にこのことにきずいていれば私の選択枝も変わっていたかもしれないと今更考えてもしかたがないのだが、情報は体制の中で流れるしかないという狭いりんご界の質もあったのでしょ

う。「沈黙の春」に当初触れたが生物の根源は理解しなかったのだ。りんご畑でうるさいほどセミは鳴いていた。夕方になると幼虫は木に登るが、空揚げにして食べたいほどいっぱいいた。今はどうだろう。摘果作業を手伝いに来てくれた信州大学の学生に農学部の人もいたから、もし研究室に入るなら、角度を変えて生物の根源の研究をして欲しいと話しておいた。

さて、落葉病はあたりまえと覚悟しておりましたが、今までの暑さに、シンクイムシの発生が多くみられます。虫の生態のリズムと殺菌剤の使用法を知ることが大切なことですが、農薬の効果は約2週間くらいですが、一般的にはそんな間隔で散布しています。古い産地では針とうしという言葉もあつたくらいにその被害が多かったのです。それを防ぐには幼果のうちに袋を掛ける作業がありました。ところが面積の拡大と人手不足もあり、殺虫剤の普及もあり、そんな汗する作業はなくなったのです。我が家は、幸子さんが、さんさ・つがる・千秋に6月に袋掛けをした。今、それはずしてありますがシンクイムシの被害はありません。甘いものとすっぱいものの被害の差はどうかと思われるでしょうが、今のところグラニースミスにもかなりそれがありますので差異はないということです。

「クルド人・国なき民族の年代記」を読んだ。娘の旦那との会話を、少し幅を広げようという思いからだ。国家を持たない民族は、イラク・トルコ・シリア・イランで弾圧を受け、その悲しみはほとんど世界に知られていない。もともと紀元前からクルディスタンに住んでいた民族であると、作家アーリーフは歴史的な事実だと言っている。何故独立できなかったのかは、あらゆる戦争の犠牲であり、私の

思いからすれば政治的に不器用だったのではないかと結論づけてしまう。ユダヤ国家と比較はできないが、いずれも大国の影が歴史の中で動いていたのだ。

私共のイムランは若いときから国の政治的な発言ができる男だと思っていたが、私よりも平和主義者で乱暴な口をきくこともない。日本に来てから長い時間が過ぎたが、今の日本をどう思っているのだろうか。先日彼の父親が亡くなったが、私よりも若い人生だった。

トルコの中世も戦争にあけくれていた。地中海も血の海となったこともあろう。私は現在のその風景も見たこともないが、歴史を知らない人にとってはきっと美しく見えるのでしょう。もちろん日本の中世も戦争ばかりであった。面白くおかしく演出する時代劇ではその悲惨さは伝わらない。同時代を生きない限り胸にせまるものはないからだ。古事記や日本書紀にあるようないいかげんな歴史観をおかしいと感じない限り、日本も戦争をしたい国家となるのだ。治安維持法みたいなものが簡単にできる国なのだから。

アフリカで生まれたモンゴロイドは世界各地に散らばった。そしてその地域にあった文化を創造してきた。だがそのために権力欲とか権威を求めてか戦争を始めるようになった。縄文時代は殺し合いの痕跡がなかったと親しかったなわふみとさんが言っていた。大陸からの文化は権力闘争を連れてきた。そして和人にアイヌ民族は追われた。皇国史観で差別制度ができあがった。そして維新の残党の軍隊はアジア各地を侵略し始めた。広島長崎に原爆を落とされ日本の戦争は終わった。だが、沖縄には大きな差別が残った。

政治屋の顔は絵にならないと画家の玄さんがよく言っていた。心うつ物語がなく、優秀でなければならぬはずの彼等はみんなアホに見える。そして彼等を選ぶ大衆は器用なのかアホなのかどちらかでしょうね。

たかがりんごされどりんごという思いでその仕事を続けてきたバカな男にも結論めいたものがある。たとえ人様のためになる小さなことも個人では成立しないものなのだというのを。

台風5号による被害はありませんでした。しかしまだこれからですよ。幸子さんが管理している野菜畑に夜襲があった。おそらく狸のたぐいだろうと思った。トウモロコシ、ナス、スイカがじゃらされて。人間の侵略からすればどうってことないでしょうよと一笑した。とその次の日、りんごとモモがかなりサルにやられた。電柵の網の土を掘って侵入したのだ。これは笑ってはいられなかった。10匹の犬たちを山際に移動した。人間の年令からすればもう私たち以上の犬もいる。老いた君たちにも仕事を頼んでごめんよと頭をたたいた。それぞれみんな知恵をつけて進化しているのだ。はいつくばって汗水流している現場の人間だけが夢の終りをみれないのか。

いよいよ早生種の出荷がはじまります。りんごに白い粉が付着しているものもありますが、ポルドー液の石灰です。見えないものほど恐ろしいと、これが理解度のはじまりです。夏休みの孫たちをどこへも連れて行けなかった。日常のあたりまえの時間の中で笑いながら過ごした。いつか思い出の糧になるのだろうか。あそびに来てください。お待ちしております。ジュースはまだ残っておりますのでお求め下さい。